

## 第六次柏市芸術文化振興計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
1	計画全般	P.10 P.12	<p>主旨:市の歴史資料や美術作品の公開については、市長が表明した「中央図書館の整備」と連動させるべきではないか。</p> <p>第六次柏市芸術文化振興計画(案)の第2章では、文化資源の活用・保護に関する課題として「展示施設の改善と作品の活用」が示されている。また、施策の柱①「芸術文化へのアクセシビリティの向上」では、「あらゆる人が身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実」が掲げられ、市が所蔵する美術作品の公開にも言及している。</p> <p>これらの課題に対応するためには、パブリック・コメント募集期間中に市長が表明した「中央図書館の整備」との連動を芸術文化振興計画に反映し、その一環として検討することが適切であると考えます。</p> <p>近年の図書館整備は、施設の複合化によって実現している例が多い。複合化は単独施設より効率的な運営が可能で、持続可能性の向上が期待できるほか、複数機能を連携させることで相乗効果が得られるためである。</p> <p>図書館は従来から地域資料を扱っており、中央図書館の整備にあたっては、中核市にふさわしい機能や規模の拡充が求められている。したがって、地域資料に関する機能強化の一環として、歴史資料や美術作品を公開する機能を中央図書館の主要機能として新たに位置づける可能性を、芸術文化振興計画で言及すべきである。これは、郷土資料展示室の機能を拡充したミュージアム機能と、図書館機能の融合を図る取り組みである。</p> <p>このような複合化・融合化により、文献資料と実物資料を一体的に扱うことが可能となり、運営面でも効率性が高まる。また、地域資料に関する取り組みについて司書と学芸員が連携して対応でき、より高度で効果的なサービス提供が実現する。</p> <p>さらに、利便性の高い柏駅周辺に中央図書館を整備することになれば、現状の郷土資料展示室が抱える規模や立地の制約を解消でき、より多くの市民が歴史資料や美術作品に触れられるようになる。市民の文化享受の機会が大幅に向上し、大きなメリットが生まれると考える。</p>	<p>いただいた御意見につきましては施策の柱⑤の2項目目で示させていただいた「アート活動のための場(中略)を模索する」「生活の中にある文化や芸術に触れ、(中略)楽しみ、交流が生まれる土壌を育てていく」施策を進めて行く上で活かしてまいります。</p> <p>御意見のとおり、他自治体の例を見ても、複合施設の好例は多く存在しており、様々な形で機能をもたせる施設を作ることにより、多様なニーズを持った市民の方々が来訪されることが期待できると考えておりますので、中央図書館整備の議論においても、より多くの市民に共感が得られる施設という視点を排除することなく検討を進めてまいります。</p>

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
2	計画全般	P.7 P.9 P.12 その他	<p>「柏を文化・芸術の創造に満ちた街、魅力ある街にしよう」          そのためには          「柏に美術館を創る」          または          「美術館・ギャラリー・博物館・図書館・文化会館等の機能を分断せず融合した複合施設をつくる」</p> <p>根拠・理由          1. 〇地の美術館調査より          ・ほとんどの中核市には、公立美術館があります。          ・柏市人口43万人の規模の中核市で、美術館の設置と運営は可能、必要と思われます。</p> <p>2. 施策の柱①～④の関連して          ・柏市にゆかりのある芸術家の活躍の場と作品の紹介          ・地域に埋もれたアート作品の紹介          ・芸術家を目指す人たちの創作活動を支援する場の提供          ・振興計画案P7芸術文化を鑑賞したい74.4%とで芸術文化への関心度が高い。          ・P9これからの人生において芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思っている人が71.9%          ・音楽も大切であると思っているが、音楽だけでなく偏りのない多様な文化活動の推進。</p> <p>3. 柏市が所蔵している美術作品が800点に及び寄贈作品や柏市にゆかりのある美術作家の作品の保管をしている。(P12)          他にも芹沢先生や棟方志功先生の著名人の作品600点もあるとのこと。企画展での公開でなく、引き続き作品の適正保存でなく、美術館があれば常時の展示ができ、多くの人々が鑑賞の機会を得られ感動と喜びを感じてもらうことができる。柏市の宝の存在を知ってもらえる。有効活用ができる。</p> <p>4. 柏市第六次総合計画が令和7年から令和16年という10年間そのうちの5年間で第六次柏市芸術文化の振興計画引き続き5年間で第七次芸術文化振興計画となっている。美術館創りも多額の予算と念入りな検討を必要とするので、長いスパンで取り組むことが必要なので計画に是非いれて今後の検討課題としてほしい。</p> <p>5. 柏に美術館を創りたいと強い願いを持っている人たちは、実際に各地の美術館調査を行ったり、かしの文化・芸術を見つけようと、「まちなかアートマップ 柏の葉公園周辺と柏駅周辺と広域」を作成して多くの人に配布したり、講演会を開催したりと柏市の芸術文化を大切にしている。</p> <p>*その他          柏市芸術文化振興計画(案)について</p> <p>○第1章から第3章まで文章的にはしっかりまとまっているが、長期計画であることへの意識化、実現に向けての何をどのように進めていくのか具体的な取り組みが見えない。          実践化に向けて、結果が出て、形に残る取り組みが必要だと感じました。</p> <p>○アンケート調査から見える傾向はまとめられているが、担当課部署にいる職員の皆様が芸術文化に対して、市として実態の把握を何をどれだけどう把握して進めているのか知りたい。</p> <p>○施策の柱③⑤学校における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供が音楽に偏っている。          音楽以外はどのように鑑賞や体験の機会を学校に提供していくのか。</p> <p>○柏市文化振興審議委員の半分近くが音楽関係者          幅広い分野からの審議委員を選出して多方面からの意見交換をできる事を願いたい。          最後に          第六次柏市芸術文化振興計画(案)を熟読したわけではないので、解釈不足があるかもしれませんが、担当部署の皆様の意欲と柏市の実態、市民の思いを組んだ創意工夫があり、柏市民に取り組みの状況が分かる発信や結果を出せる計画実行を強く願っています。</p>	<p>本市においても所蔵している美術作品が数多くあることや、本市にゆかりのある芸術家が多くいらっしゃることから、それらの作品を広く鑑賞していただく機会が必要であると考えております。そのための環境・場づくりについては重要事項と捉えており、美術館や文化複合施設の必要性についても十分に認識しておりますが、本計画の施策5「柏らしさを活かしたまちづくりの推進」で示させていただいた「アート活動のための場(中略)を模索する」「生活の中にある文化や芸術に触れ、(中略)楽しみ、交流が生まれる土壌を育てていく」施策を進めて行く先に、市民意識が醸成されていくものと考えております。</p> <p>その他のご指摘、ご質問等につきましては、現時点での具体的な計画はございませんが、今後の施策推進の参考にさせていただきます。</p>

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
3	計画全般	P.10	<p>1.はじめに 芸術文化という幅広い職種を取りまとめて振興させることは極めて難しい問題だと思います。その中で、アンケートに基づき解決策を提示していることは適切だと思います。</p> <p>意見 「取り組むべき課題」の「教育と連携」の「部活動・特設クラブの見直しと地域移行」について、中学校等文化部の活動について音楽部と同じ程度の解決策を提示して頂きたい。</p>	<p>本市における土日の部活動は地域クラブが担っており、文化系の活動としては吹奏楽クラブが設立され、現在、ほとんどの学校において盛んに活動しているところです。その他の文化部につきましても、子どもたちのニーズを捉え、地域クラブを運営する体制を整えながら検討を進めてまいります。</p>
4	計画全般		<p>計画案名「そごう柏店跡地に、約1,000人規模の音楽ホールを整備」</p> <p>意見 柏市には音楽利用も可能な市民文化会館がありますが、老朽化が進んでいるうえ、交通の便が悪く利用しづらい状況にあります。その点、そごう柏店跡地は駅から近くアクセスが良いため、市民が利用しやすいだけでなく、近隣市からの来訪者も期待でき、まちのにぎわい創出にも寄与すると考えます。文化芸術の振興と中心市街地の活性化の両面において、大きな効果が見込まれる計画だと思います。ぜひ、1,000人規模の音楽ホールを整備していただけますよう要望いたします。</p>	<p>環境・場づくりについては重要事項と捉え、本計画の施策5「柏らしさを活かしたまちづくりの推進」等に記載しておりますが、そごう柏店跡地については、柏駅周辺の中心市街地整備を進める中で様々な状況を踏まえて展開を決定していくことになるため、現時点において本計画の中で記載できる内容がございません。</p> <p>しかしながら、市民文化会館につきましては、建築年数が経過しているとともに、柏駅から徒歩20分程度の場所にあるためバスを利用して来場される方が多く、利用しづらいという声があることも承知しておりますので、今後の文化施策にも反映できるよう努めてまいります。</p>

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
5	計画全般		<p>柏市芸術文化振興計画(案)について要望をあげさせていただきます。  柏市在住の小学生を育てている母であり、京都芸大の学生でもある一般市民からの意見です。</p> <p>今回の計画(案)を拝見させていただき、意外だったことは芸術文化の中でも柏市では音楽活動の印象が高いということだと思います。日々、柏で暮らしていても私にはその認識は薄かったからです。  柏にどんな文化や芸術があるのか、柏で生まれ育ってもまだまだ知らないことがたくさんだとアンケート結果をみながら思いました。</p> <p>芸術文化といってもその領域はとても広く、一言で説明することはとても難しいことですが、文化庁のHPを見ますと『人間の自然との関わりや風土の中で生まれ、育ち、身に付けていく立ち居振る舞いや、衣食住をはじめとする暮らし、生活様式、価値観など、およそ人間と人間の生活に関わる総体を意味する。』とあります。詳しくさらに読み進めますと豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育むなど、人間が人間らしく生きるための糧となるものとあり、すなわちそれは地域を心豊かに発展させていくことにつながることと考えています。昨今、文化の多様性を認められている一方で、子供たちを取り巻く環境はまだまだ団体のくくりにてまとめられているようにも感じ、個々がもっと感性豊かにこの柏で育ってほしいと願ったとき、おおむねこの計画案方針でよろしいと考えますが、ではどこで？ベースとなる基地が欲しいと考えます。  それは文化複合施設です。芸術文化への入り口でもあり、さらに深く知りたい、学びたいとなった時には、都内やそのほかの地域に学びに行くのではなく、またそこへ通うとさらに学べる、さらには大人になりこの地域で活動していける、クリエイターとして生活とともに柏に根差していけるといった仕組みを目指していただきたい。  現在はさらに何かを調べたり知りたいとなった時に上野の美術館へ行ったり、ほかの地域に見に行きます。私の小学生の子供は、授業で布施の東海寺を見学に行き、仏像の魅力に取りつかれ、上野の国立博物館で開催されていた神護寺展へ見に行き、さらには自分で描きたいと都内の仏師の先生のところへ仏画を習いに通っております。たまたま仏像でしたが、領域の広い芸術文化のなかでここに魅力を感じたか、小学生で？と親としては驚きであったとともにいくつであったとしても本物に触れたときに心が揺さぶられるような体験、それをもっと深く知りたいと願ったときにここへ行けばヒントにたどり着けるといったベースが地域にあったらと考えます。  領域の広い芸術文化ですから文化複合施設、その中には美術館、博物館、それに付随する専門図書室や研究室、そしてこれらに精通している人材の育成プログラムこれらを盛り込まれてははいかがでしょうか。  文化複合施設と簡単に言っても柏の現状や財政を考えますと、これらをすぐ造れるとは思いません。ですが、長期計画としてステップを踏んでいくことは可能ではないだろうかと考えます。  まずは、現在計画の出ている小中一貫校設立後の廃校利用を第一ステップとして考えることはどうでしょうか？第一ステップ、第二ステップ、第三ステップと立派な複合施設は20年、30年とかかるかもしれません。それでも小さなステップでも上がっていくことが必要と考えます。  小さくても芸術文化のベース基地を造り、そこから柏の芸術文化を育て広げていく、ベースがあることで幅広い年齢の市民の柏に対する意見もそろいやすくなるのではと考えます。ベースがなければ各活動の把握が難しく全体連携も難しくなってくるのではないのでしょうか？</p> <p>上記のことから計画案に長期でもよいので文化複合施設設置の計画をご検討いただき、盛り込んでいただくことを要望いたします。</p>	<p>芸術作品や文化財を直接見ることができたり、関連書籍で学ぶことができたり、人材育成もできるような拠点があることは、文化的なまちづくりに貢献するものであると考えており、環境・場づくりについては重要事項と捉え、本計画の随所で触れております。中でも施策5「柏らしさを活かしたまちづくりの推進」で示させていただいた「アート活動のための場(中略)を模索する」「生活の中にある文化や芸術に触れ、(中略)楽しみ、交流が生まれる土壌を育てていく」施策を進めていくことで、市民意識が醸成されていくものと考えておりますので、「小さくても芸術文化のベース基地を造り、そこから」というご提案も同じ方向性を見ていると認識いたしました。廃校利用等について現段階で具体的に示せるものはありませんが、市民の皆様が文化に触れられる拠点づくりについて、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
6	計画全般	全般	<p>全般について</p> <p>1 国、県、の基本法・基本計画は、「文化芸術」となっていますが、柏市の計画が「芸術文化」となっています。今回の見直しにあたって、「第六次柏市文化芸術振興計画(案)」と国、県に合わせて統一することを要望します。</p> <p>2 計画の「対象となる文化芸術の範囲」が欠落しています。この記載がないため、具体的計画内容が不明確になります。第1章の事業の進捗管理の前に記載いただきたいと考えます。</p> <p>第1章 計画の策定にあたって (P2)計画の背景と趣旨</p> <p>1 P2L1「文化振興部門計画」と記載していますが「文化芸術振興部門計画」の誤りではないでしょうか。確認願います。</p> <p>2 P2L8で「多くの市民が文化芸術関連の鑑賞をしたいという意欲がある」と記載されていることには同感です。市民は文化芸術の潤いがある生活ができる街を望んでいるのです。音楽で言えば、自分の耳で生の演奏を聴きたいと考えているのです。自ら演奏することを望んでいるとは限りません。美術についても同様です。自ら制作したい人もいますでしょう。美術館でレベルの高い作品を自分の目で鑑賞したいと考える人も同様に大切にしたいと考えています。</p> <p>3 P2L4の「芸術は単なる娯楽や趣味の領域にとどまるものではなく、社会の豊かさを育む基盤です。」とあるのは、「芸術は人々がやすらぎと潤いを実感できる社会の豊かさを育む基盤です。」と修正していただきたいと要望します。</p> <p>(P3)柏市第六次総合計画における文化芸術の位置付け</p> <p>1 P3L9において「施策の体系として「生涯学習・文化」として3つの方向性を定めており、…」と記載されています。第六次総合計画の「(1)誰でもが学べる環境づくりを推進する(2)地域を学び、参加する仕組みづくりを推進する(3)文化・芸術の振興を図る」を記載いただきたいと要望します。</p> <p>2 P3L10において「まちへの誇りや愛着を高めるためには芸術文化の果たす役割は大きいと捉えています。」とあるのを「まちへの誇りや愛着を高め、やすらぎと潤いのある豊かなまちにするために、芸術文化の果たす役割は大きいと捉えています。」としていただきたいと要望します。</p> <p>第2章 文化行政を取り巻く動向</p> <p>1 国や県の動向は記載されていますが、社会情勢と柏市の動向が記載されていません。また柏市の文化施設の現況も記載されていません。追記する必要があると考えます。</p> <p>○文化芸術を取り巻く社会情勢の変化</p> <p>1 国や県の動向の次の節として、AIを含む情報技術、デジタル映像技術の発達と応用の進歩という社会情勢の変化に触れていただくことを要望します。P13の「デジタル資料を活用した発信の充実」に繋がります。</p> <p>2 柏市の情勢変化として、柏市の都市として変貌、柏駅周辺の再開発の推進などに触れて、柏市が大きく変貌していることを示す必要があると考えます。</p> <p>○柏市の文化施設について</p> <p>1 柏市の文化施設の現況についての記載がありません。資料編に主な文化施設の一覧表とそれぞれの管理部門を記載していただきたいと提案します。 私が思いつくだけでも、柏市民文化会館、アミュゼ柏、パレット柏市民ギャラリー、柏市郷土資料展示室、柏市文化財整理室、旧吉田家住宅、旧手賀教会堂、染谷家住宅、市内各家の長屋門、旧陸軍高射砲第二連隊照空予習室、ロケット戦闘機秋水の燃料庫、柏飛行場衛兵門、きつね山古墳のある大室こふん公園、あけぼの山公園の陶芸用穴窯などがあげられます。近隣センターに付属している施設もあります。</p> <p>○柏市の文化芸術振興の施策と実績</p> <p>1 柏市がこれまで実施してきた文化芸術振興のための施策とその実績・成果を資料編として掲載いただきたいと提案します。私が思いつく最近の項目だけでも、旧手賀教会堂の整備、染谷家住宅の整備と公開、旧吉田家住宅の改修、柏市郷土資料展示室での各種企画展、パレット柏市民ギャラリーでの企画展など、多大な成果を残しています。記録として残していただきたいと考えます。 「音楽のまち」のイメージを形成している駅前の路上ライブの活動、学校の吹奏楽活動の入賞実績なども掲載するとよいと思います。</p>	<p>「芸術文化」という表記につきまして、国の計画は歴史・文化財までを包括しているために「文化芸術」と表現しているものと考えており、本市の計画は一部で文化財の活用にも言及しているものの、歴史・文化財を扱う計画は別途「文化財保存活用地域計画」で定めているため、「芸術文化」のままとしています。 また上記のことから、歴史・考古学系の事業については本計画の対象外としています。</p> <p>次の点について、追記する方向で進めます。 ・本計画の「対象となる文化芸術の範囲」 ・社会情勢の変化 ・第六次柏市総合計画の3つの方向性 ・郷土資料展示室における取り組み</p> <p>また、次のとおり表現を変更する方向で進めます。 (1) P2 L1「文化振興部門計画」 →「文化芸術振興部門計画」 (2) P2 L4「芸術は単なる娯楽や趣味の領域にとどまるものではなく、社会の豊かさを育む基盤です。」 →「芸術は人々が安らぎと心の潤い・躍動を実感できる社会の豊かさを育む基盤です。」 (3) P3 L10「まちへの誇りや愛着を高めるためには芸術文化の果たす役割は大きいと捉えています。」 →「まちへの誇りや愛着を高め、安らぎと潤いのある豊かなまちにするために、芸術文化の果たす役割は大きいと捉えています。」 (4) P10「文化芸術のイメージと認知度向上」 →「文化芸術の充実による市民満足度の向上」 (5) P10「イメージアップ施策が必要」 →「文化芸術を充実する施策が必要」 (6) P10「幅広い世代・地域で文化芸術活動への参加機会を増やすことが求められている。」 →「幅広い世代・地域で文化芸術を鑑賞したり参加する機会を増やすことが求められている。」 (7) P10「文化芸術活動の担い手として、民間団体との連携を強化する必要がある。」 →「文化芸術活動の担い手として、民間団体、市民グループなど多様な関係者との連携を強化する必要がある。」 (8) P11 L1「アンケート結果やこれまでの事業の取組内容の課題から見えてきた課題を踏まえ、…」 →「国と千葉県の文化芸術振興政策の動向、社会情勢の変化、審議会の議論やアンケートによる市民の意向、これまでの文化芸術振興事業の取組みから見えてきた課題を踏まえ、…」 (9) P16 L17「…連携の促進を図り、ホールや美術館に行かなくとも身近に感じることでできる環境づくりを推進します。」 →「…連携の促進を図り、身近に感じることでできる環境づくりを推進します。」</p> <p>その他の御意見については、計画全体や市のホームページなどですでに記載のある内容のため、引き続き情報公開に努めるとともに、いただきました御提案につきましても今後の計画推進にあたっての参考とさせていただきます。</p>

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
			<p>(P6)「教育・生涯学習・文化芸術に関するアンケート」から見える傾向  1 第五次振興計画と同様に、アンケート結果のグラフ等は資料編に開催し、評価を本文中に記載するのが良いと考えます。アンケートを市民の声と考えていますが、アンケートは設問の順番、設問の構成によって結果が異なります。アンケート結果の評価は慎重さを求められます。アンケートの設問と結果は資料編にするのが良いと考えます。</p> <p>○審議会での委員からの意見  1 審議会における委員の意見・提案で、第六次文化芸術振興計画に反映できず今後の課題となる意見があれば、その概要をアンケートの次の節または資料編に記載いただきたいと思えます。アンケートと同様に市民代表の意見として大切と考えます。</p> <p>(P10)文化芸術の振興・普及  1 表の第1・1欄に「文化芸術のイメージと認知度向上」と記載されていますが「文化芸術の充実による市民満足度の向上」と書き換えることを要望します。</p> <p>2 表1.2欄L2で「イメージアップ施策が必要」と記載していますが、「文化芸術を充実する施策が必要」と書き換えることを要望します。</p> <p>(P10)参加機会の拡充と多様化  1 計画の背景と趣旨で指摘しましたが、市民は、文化芸術を身近に鑑賞することも望んでいます。表の第2・2欄の「幅広い世代・地域で文化芸術活動への参加機会を増やすことが求められている。」の部分は、「幅広い世代・地域で文化芸術を鑑賞したり参加する機会を増やすことが求められている。」と書き換えることを要望します。</p> <p>(P10)文化財・歴史への関心の喚起  1 右欄の項目に、「文化財・歴史の講演会開催」を追記して、充実していただきたいと希望します。</p> <p>(P10)展示施設の改善と作品の活用  1 この項目は、重要な課題を明記しており、賛同します。しかし第3章に具体的な記載が欠落しています。是非とも第3章P12L15の後ろあたりに記載することを提案します。  郷土資料展示室は、交通の利便性と施設規模に限界があるあり、来場者から改善要望の声が上がっています。狭隘な展示室にもかかわらず、関係職員の努力によって優れた企画展示がされ、市民の美術、歴史への関心が深まっています。郷土資料展示室は、柏市の歴史を示す縄文・弥生・古墳時代から中世・近代などを中心とした歴史資料の企画展と砂川美術工芸館から寄贈された芹沢銈介作品、棟方志功作品などの企画展を開催しています。  企画展開催の毎に、歴史資料、美術品を遠方にある収蔵庫に移すなど多大な手数を要していると聞いています。その収蔵庫も満杯となっているため、新たな美術品の受入れが難しい状況にあり改善が必要となっています。  このような困難な状況にありながらも、最近開催した歴史企画展「輝く！ 柏の縄文オールスター」は、企画展示が優秀で、市民の好評を得ました。特筆に値すると思っています。  郷土の歴史を知ること、市民は郷土に誇りをもって郷土の未来を展望することができます。砂川コレクション・柏市ゆかりの一流芸術作品など鑑賞することで市民はやすらぎと潤いを得ることができます。  郷土資料展示室は展示施設として狭すぎ、所蔵する郷土資料と美術品を十分に展示ができない状況にあり、早急に解決する必要があると考えます。柏市に博物館と美術館・収蔵設備の複合施設が必要な時期に到達していると感じます。</p> <p>(P10)民間との連携強化  1 右欄に、「文化芸術活動の担い手として、民間団体との連携を強化する必要がある。」と記載されているのを、「文化芸術活動の担い手として、民間団体、市民グループなど多様な関係者との連携を強化する必要がある。」と修正することを要望します。</p> <p>第3章 文化芸術のさらなる振興の実現に向けて  1 P11L1の「アンケート結果やこれまでの事業の取組内容の課題から見えてきた課題を踏まえ、…」の部分は「国と千葉県文化芸術振興政策の変化と動向、社会情勢の変化、審議会の議論やアンケートによる市民の意向、これまでの文化芸術振興事業の取り組みから見えてきた課題を踏まえ、…」と修正することを要望します。</p> <p>(P12)施策の柱①文化芸術へのアクセシビリティの向上</p>	

No.	内容	該当頁	ご意見	市教育委員会の考え方
			<p>1 P12 L11からのL7からの美術作品について、「身近な場所でアートに触れることのできる環境は、心の豊かさの醸成にもつながり、…」とあるのを「柏市民ギャラリーなど身近な場所でアートに触れることのできる環境は、心の豊かさの醸成にもつながり、…」と修正することを要望します。</p> <p>2 郷土資料展示について数行追記されることを望みます。  歴史展としては「弁栄展―柏が生んだ聖」、  「染谷家のたたずまい～歴代当主がつちかってきたもの～」、  「輝く！柏の縄文オールスター」など記憶に残る企画展を開催しています。  柏市郷土資料展示室は、柏の歴史を物語る考古歴史資料を体系的に紹介することで、柏市の歴史を知り、豊かな未来を考える場として重要な歴史博物館に準じる施設でもあります。</p> <p>(P12)文化芸術の情報提供の充実  1 振興計画に記載していただく内容ではなく、柏市へのお願いですが、情報提供について下記の改善をお願いします。  以前は、柏駅前前の柏インフォメーションセンターにおいて市内で開催される文化芸術活動、特にコンサート、美術展などのチラシが置いてあり市民が情報を得ていました。アミューズ柏のコンサートチケットなども扱っていましたが、令和7年から運営が柏市観光協会に変わってからは、「文化芸術活動」は「観光事業」ではないとして、チラシの設置もチケットの販売も制限しています。  国の方針は文化芸術振興が取り扱う文化芸術の範囲を拡大しており、観光、まちづくりなどまで関連を深めています。柏市観光協会が、従前の柏インフォメーションセンターと同様に、市内で開催される文化芸術活動、特にコンサートのチラシとチケット取扱を再開して、市民が情報を得られるようにしてもらいたいとお願いします。</p> <p>(P13)デジタル資料を活用した発信の充実  1 振興計画に記載していただく内容ではなく、柏市へのお願いです。P13L1で「芸術作品について資料のデジタル化を進め、…」とあります。柏市内の民間が運用しているウェブミュージアム「みんなのミュージアム」は、東葛地域の作家の作品をインターネットで市民が無料利用できるバーチャル美術館となっています。柏市の資料のデジタル化が進みましたら、ウェブミュージアムなどとデータが連携できることを考えていただきたいと要望します。</p> <p>(P14)施策の柱③子どもたちが文化芸術に親しむ機会の提供  (P14)学校における文化芸術鑑賞、体験機会の提供  1 振興計画に記載していただく内容ではなく、柏市へのお願いです。版画家の大野隆司さんが柏市内の小学校を廻って版画指導をしている話を聞いています。津軽三味線名人位で柏市在住の五錦竜二さんが弟子と共にボランティアで演奏することを小学校等に提案していますが、学校教育時間での公演鑑賞やワークショップに割く時間が取れなくなっているように感じます。学校教育部門と文化芸術部門の連携で、小中学校のニーズのとりまとめをお願いします。</p> <p>(P15)施策の柱④若い世代の文化芸術活動への支援  (P15)活躍の場・機会の創出  1 振興計画に記載していただく内容ではなく、柏市へのお願いです。アミューズ柏での一流演奏家の公演を支援する体制も必要と感じます。そのためにはアミューズ柏の利用申込み受付を、流山市のおおたかの森ホールのように有料公演を優先するような形態に修正することをお願いします。</p> <p>(P15)施策の柱⑤柏らしさを生かしたまちづくりの推進  (P15)「音楽の街かしわ」の推進  1 P16L11で「新たなジャンルの普及を後押ししながらも、この柏の強みを更に生かしていきます。」と結んでいるのを「新たなジャンルの普及を後押しして、文化芸術の街かしわと発展させていきます。」と修正することを要望します。  第六次推進計画になりましたので、「音楽の街かしわ」の推進から「文化芸術の街かしわ」の推進に、一歩前進させてはいかがでしょうか。もちろん「音楽の街かしわ」も大切です。</p> <p>2 P16L18の「…連携の促進を図り、ホールや美術館に行かなくとも身近に感じることのできる環境づくりを推進します。」の部分は違和感があります。柏市には柏市民文化会館、アミューズかしわ、柏市民ギャラリーは不必要と考えているように受け取られる可能性があります。この「ホールや美術館に行かなくとも」は不必要な表現であり、削除するのが適当と考えます。「…連携の促進を図り、身近に感じることのできる環境づくりを推進します。」と修正することを要望します。</p> <p>おわりに</p>	

No.	内容	該当頁行	ご意見	市教育委員会の考え方
			過去の審議会委員からは「委員会で意見を述べても何ら反映されず、徒労感だけが残った」との声を聴いています。振興計画に反映できない意見であっても、本篇または資料編で、今後の課題として記録に残しておくのが委員の皆さまへの礼儀と感じています。	